

第1回

チリン・タイム



こんにちは
チリカです！



自転車交通安全講習
「チリン・スクール」
マスコットキャラクターチリカ

はじめて自分の自転車を貰ってもらったチリカちゃん！
早く出かけたたいとワクワクしています。

みなさんは自転車のルールを正しく知っていますか？
これから一年間チリカちゃんと一緒に自転車の交通ルール
を学びましょう。



今回、特に覚えてほしいこと

- 自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。
- 自転車は人と車のどちらの仲間？
- 自転車の簡単な点検ができるように、各部の名称を覚えたり、具合が悪いときには自転車安全整備店に出しましょう。
- 交通事故に遭った場合は、相手に氏名や連絡先を伝え、必ず警察に通報しましょう。

問1

自転車用ヘルメットの正しいかぶり方は、どれでしょう？



① ()
あごひもをしめると苦しいので、あごひもはしないで、かぶる。



② ()
あごとひもとの間に指が一本入るくらいに調整をして、かぶる。



③ ()
ヘルメットが外れないように、あごひもをきつくしめて、かぶる。

問2

自転車とは…？ () 内の正しいと思うものに○をつけましょう。

自転車は『軽車両』といって、(人・車)の仲間です。

このため、道路標識は(人・車)に対するものに従い、
交通ルールを守らなければなりません。



標識の例

小さな故障でも、大きな事故に(つながります・つながりません)。

安全な自転車に乗るためには、自転車の故障がわかるように、主な部分の名称や役割を知り、簡単な点検・整備や修理ができるようになることや、自転車安全整備店で点検・整備や修理をしてもらうことが(必要です・必要ありません)。

交通事故にあつと、悪いことをした気持ちになってしまったり、どうしてよいかわからず、何も言わずにその場から立ち去ってしまう人がいます。

交通事故の場合は(必ず・怪我をしたときだけ)、(その場で・家で)110番通報し、警察に交通事故の届出をし、(必ず・怪我をしたときだけ)家族にも事故のことを話しましょう。

相手には(必ず・怪我をしたときだけ)氏名と連絡先を伝えましょう。

相手が怪我をしていて、道路上で動けないときや、後から来た車などがさらに交通事故を起こしてしまうようなときは、すぐに周りの人を呼ぶなどしましょう。

問3

自転車に乗る前に行く点検箇所です。各部に名称を入れましょう。

